

8月27日

恵那市の笠置山

藤村 敏幸

山名	恵那市の笠置山	山行名	個人山行
ルート	笠置山林道出会 → 笠置山頂上 → 笠置山林道出会		
山行日	令和2年8月27日	天候	晴れのち曇り
参加者	CL 藤村 SL 西川 洋 和田 倉光		



コースタイム			
地名	時:分	頂上発	12:30
林道出会	10:00	林道出会	14:00
頂上着	12:00		

東南アジアをぶらり一人旅する不思議な老人に再会して、そして近くの山に登る企画で恵那市を訪問した。不思議な老人とは、今年2月のキノバル山登山旅行中のKULの民族博物館を見学している時に偶然知り合いになり、その後WEBで調べると恵那市では仙人として有名でテレビで何回も紹介されているひげを伸ばし怖いもの知らずに巡礼者姿で毎年海外の田舎を旅している83歳の冒険者である。恵那市笠置町の自宅を訪問すると、既に何人かの先客がおり庭先で昼食の準備をしていた。居間に通していただき、仙人が海外で病気になり困った時の話や、海外の現地情報を色々と聞く。韓国の人は、集団で話をするとき、日本人と言うと皆横を向くが、個人的に話をすると皆優しく親切で親日家が多く、報道されているのとは全然違ふと体験談を交えて教えていただく。話の途中で先客が料理した長崎うどんを御馳走になる。その後、近くの笠置山を私の車に乗り案内される。笠置山頂上近くの岩上展望台やハンググライダーの滑空開始場所等を連れてもらう。中津川のホテル到着後、翌日は午後から天候が崩れるとの予報もあり、登る山を皆で話しあい、短時間で頂上を踏めるそれなりに有名な山である笠置山になる。笠置山は標高1,128mで恵那3山の1座で、最近クライミング練習場として地元の観光協会がPRに力をいれている。翌日27日午前8時頃にホテルを出て登山口に向かう。昨日仙人に山の中腹までクライマー用に林道が最近整備されたことを聞いており、正面の切山登山口前を通り、さらに奥まで林道を登り中腹の笠置林道出会に到着する。登山道はなだらで樹脂の階段がほぼ埋め込みされ頂上まで続いていた。登りは楽であったが、下りは段差が少しあり、膝に辛い道であった。樹林帯の中ばかりで眺望はなく気持ちが滅入る道であるが、色々世間話をしているうちに頂上につく。頂上の笠置神社に無事登れたことを感謝して昼食とする。この山は10世紀後半に在位した花山天皇が、京都の笠置山に似ていると言われたことにより名付けられた。頂上周辺の散策道を回ると、昨日仙人が案内してくれた物見岩があり、今度は鮮明に恵那盆地を一望できるかと期待して登るが昨日と同じようにボンヤリとした景色であった。頂上周辺を回ると大きな岩が所々にある。中にはアトム岩と命名された岩もあり地元のクライマーが登攀練習をしていた。下山後、恵那渓谷沿いに中津川まで戻り、大井ダム湖湖畔の宿で湖を見ながらゆっくり入浴して帰る。信州に行くときに通過するだけで興味がなかった恵那市ですが、見るべきところが多く再度訪問したい魅力的な町であると再認識した。



ヒヤリハット なし